

# 令和 5 年度 乗合バス事業者連絡会議

---

2024.2.21

## (1) 公共交通関連データの活用に関する取組と課題について

① 検討の経緯（設置趣旨・昨年度の実施内容）

② バス協会の取組

③ 今年度の連絡会の趣旨

④ 関連事例

○ モビリティポート

○ スマートバス停

～Y E デジタル様・九州産交バス様・西肥自動車様より事例ご紹介・ご講演～

## (2) 質疑・意見交換

## (1) 公共交通関連データの活用に関する取組と課題について

### ① 検討の経緯（設置趣旨・昨年度の実施内容）

### ② バス協会の取組

### ③ 今年度の連絡会の趣旨

### ④ 関連事例

- モビリティポート
- スマートバス停

～Y E デジタル様・九州産交バス様・西肥自動車様より事例ご紹介・ご講演～

## (2) 質疑・意見交換

# ① 検討の経緯（設置趣旨）

## ○設置趣旨

### （東京の地域公共交通の課題）

- ・ 中・長期的な公共交通機関の利用者の減少
- ・ 新型コロナの影響による移動需要の変化 等

地域の公共交通は、当面の機能の確保に加え、**将来にわたってその機能が発揮される**ことが重要

### （東京都の動き）

- ・ 令和4年3月 「東京における地域公共交通の基本方針」策定

### （国の動き）

- ・ 地域公共交通計画の策定が努力義務化
- ・ 今後、交通事業者など地域の関係者が議論して地域の交通の将来像を描く作業が各地で進む中、路線バスは、地域公共交通ネットワークの骨格を担う重要な役割を担っている。
- ・ そのため、**都とバス事業者の方々に、継続的に地域公共交通に関する情報を交換する機会を持ち、連携を強化していくことが重要**
- ・ 取組や課題を共有し、今後の施策を検討する材料とすることを目的に、「乗合バス事業者連絡会議」を設置

## ○検討項目

- ・ **課題の共有化**
- ・ 都の取組、事業者の取組等に係る**情報の共有**
- ・ 交通事業者間の連携の取組に関する**意見交換**  
→複数テーマがある中、乗換え利便性の向上等につながる「データ整備・利活用」等について議論

# ① 検討の経緯（昨年度の実施内容）

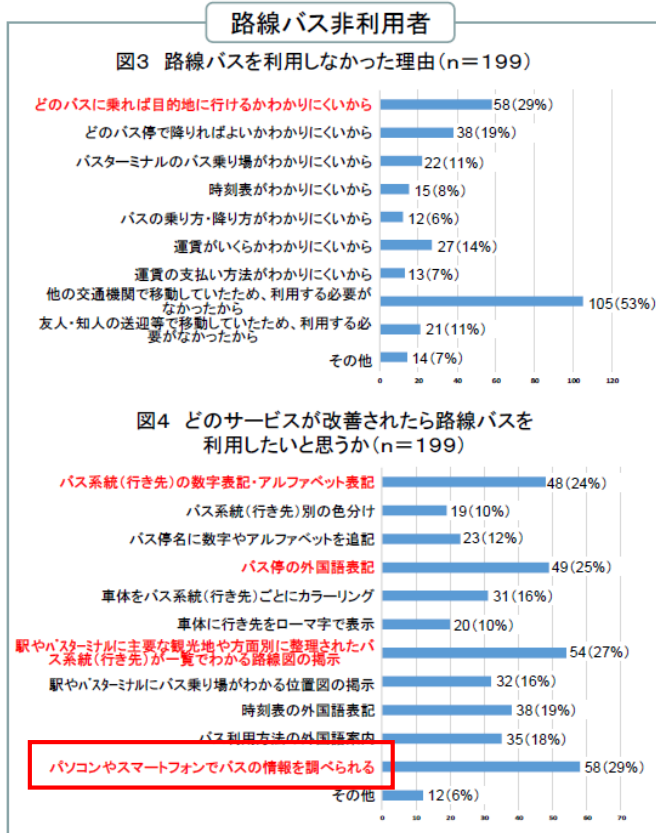
## ○昨年度実施内容

### 【第1回】

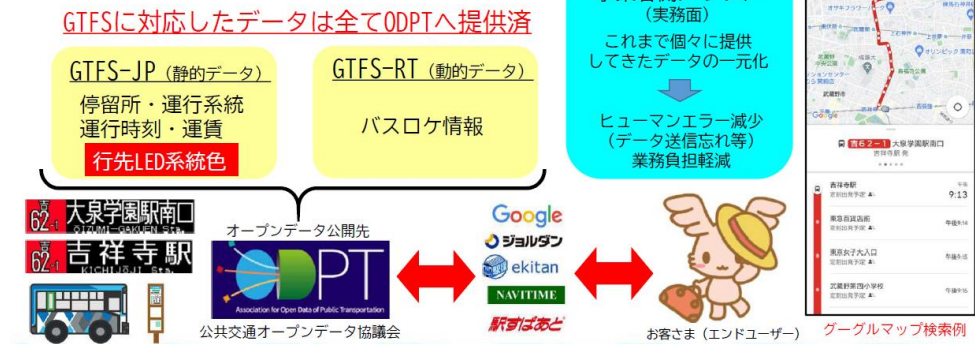
- バス事業者を取り巻く状況について
- 「東京における地域公共交通の基本方針」について
- 地域公共交通のデータ整備・利活用について

### 【第2回】

- GTFS 整備に係る事例について（データ整備・利活用についての話の一つとして、GTFSについて、事例を交えながら情報共有、意見交換を実施）



### ◎現在のオープンデータの概要



(資料) 西武バス株式会社 昨年度資料より



(資料) 東京都交通局 自動車部昨年度資料より

## (1) 公共交通関連データの活用に関する取組と課題について

① 検討の経緯（設置趣旨・昨年度の実施内容）

② **バス協会の取組**

③ 今年度の連絡会の趣旨

④ 関連事例

○ モビリティポート

○ スマートバス停

～Y E デジタル様・九州産交バス様・西肥自動車様より事例ご紹介・ご講演～

## (2) 質疑・意見交換

## ② バス協会の取組

### ○日本バス協会「令和5年度事業計画」

- 日本バス協会「令和5年度事業計画」の中に、「乗合バス路線の維持、再編と輸送サービスの改善向上」に向けた、IT技術の活用が明記されている。
- 特に、バスの利便性を向上するため、以下の取組の推進を検討していくことが明記されている。

スマートフォン等新たな情報技術を活用した  
バスロケーションシステムの導入

ICカードの普及

バス関係情報の共通フォーマット化

ビッグデータの活用

キャッシュレス決済の導入

経路検索サービスの充実

リアルタイム混雑情報提供システム  
の導入

輸送サービスの改善、向上に向けて  
IT技術の活用に取り組む

## (1) 公共交通関連データの活用に関する取組と課題について

① 検討の経緯（設置趣旨・昨年度の実施内容）

② バス協会の取組

③ **今年度の連絡会の趣旨**

④ 関連事例

○ モビリティポート

○ スマートバス停

～Y E デジタル様・九州産交バス様・西肥自動車様より事例ご紹介・ご講演～

## (2) 質疑・意見交換



### ③ 今年度連絡会の趣旨

#### ○バス事業のDX（データを活用した効果的な情報提供と事業運営の効率化）

- 「東京における地域公共交通の基本方針」を踏まえた昨年度までの経緯及びバス協会の取組状況を踏まえ、引き続き**データの利活用について**テーマとする
- データの利活用により、公共交通利用者への効果的な情報提供と事業運営の効率化を図ることでの**バス事業におけるDX**、より具体的には、データを目に見える形にして利用者に提供する「デジタルサイネージ」を用いた取組について**事業者目線**での情報共有、意見交換を実施したい

バス協会

輸送サービスの改善、向上に向けて  
IT技術の活用に取り組む

昨年度バス事業者連絡協議会の内容

データの利活用方策の検討・整理  
バス事業者のデータ整備事例



本年度バス事業者連絡会における  
テーマ

バス事業におけるDX化  
(デジタルサイネージを  
用いた取組)

## (1) 公共交通関連データの活用に関する取組と課題について

① 検討の経緯（設置趣旨・昨年度の実施内容）

② バス協会の取組

③ 今年度の連絡会の趣旨

④ **関連事例**

○ **モビリティポート**

○ **スマートバス停**

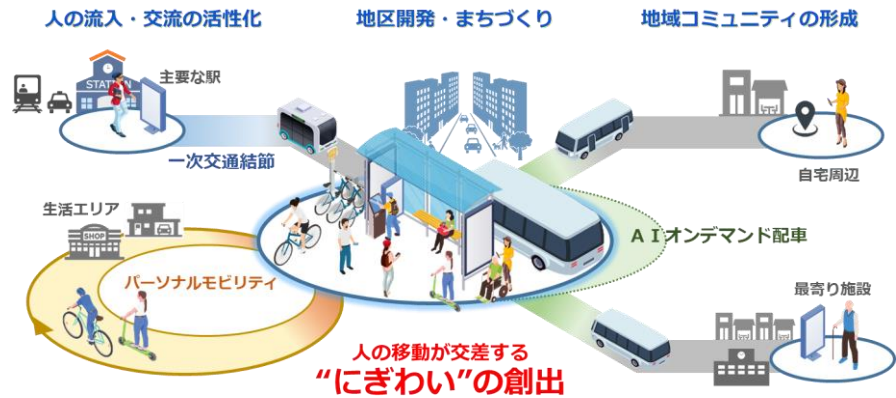
～Y E デジタル様・九州産交バス様・西肥自動車様より事例ご紹介・ご講演～

## (2) 質疑・意見交換

## ④ 関連事例

### ○DNPモビリティポート

- DNPでは、さまざまな交通モードの結節点において、交通と周遊促進のシステムとを連携した情報発信を行う拠点として、モビリティポートを整備。
- インタラクティブな屋外デジタルサイネージを活用して、利用方法や接近情報の閲覧、利用の申込みを多言語で提供



## ④ 関連事例

### ○高蔵寺ニュータウン DNPモビリティポート

- DNPは、独立行政法人UR都市機構中部支社・名古屋大学・愛知県春日井市が進めている高蔵寺ニュータウンでの「交通結節点のスマート化によるにぎわいのある安心安全なまちづくり」の共同研究に、「DNPモビリティポート」を提供。
- 商業施設に「DNPモビリティポート」のコミュニケーション端末を設置し、デマンド乗合タクシーの手配や周辺地域情報の発信により、住民等の利便性向上を図る。
- 商業施設の店舗等の広告やクーポンサービスと連動することで、地域のにぎわいづくりに対する効果を検証。



(出典) DNPホームページ

[https://www.dnp.co.jp/news/detail/20168851\\_1587.html](https://www.dnp.co.jp/news/detail/20168851_1587.html)

## ④ 関連事例

### ○熊本市スマートバス停、スマート電停

- スマートバス停のサイネージ画面には、管理クラウドから、さまざまな機能を割り当てて表示させることができる（時刻表、ニュースや天気予報サービスも表示可能）
- バス乗降場7カ所におけるスマートバス停は、熊本県内のバス事業者5社（熊本都市バス株式会社、九州産交バス株式会社、産交バス株式会社、熊本電気鉄道株式会社、株式会社熊本バス）が、熊本駅前電停2カ所は熊本市交通局がそれぞれ運用。
- 遠隔で操作できるため時刻表などの貼り替え作業が不要。
- バス停の維持管理は、広告収入の一部を充てる形となる。



#### ▼バス停



**日本初！**  
5つのバス事業者の情報が、時間順に表示されます。

#### 1 時刻表

直近の時刻表の文字を大きく表示することで見やすさをアップ！

#### 2 バス接近表示

バス停に停車予定のバスの現在位置が確認でき安心！

#### 3 豊富な情報

お知らせや案内、緊急時には注意報・警報などを表示することで、情報弱者を支援。

#### ▼電停



(出典) YEデジタルホームページ  
新着情報2022/7/20 「スマート電停」 熊本市交通局が8電停20基、追加導入！  
<https://www.ye-digital.com/jp/news/detail.php?id=389&year=2022>  
新着情報2020/9/16 スマートバス停、いよいよ本格導入フェーズへ。熊本駅前に9カ所導入決定！  
<https://www.ye-digital.com/jp/news/detail.php?id=173&year=2020>